

# 日本セトロジー研究会 第29回（福岡）大会プログラム

2018年6月16日（土） 公開特別講演会

## 「北部九州から発信するクジラ研究」

会場：マリンワールド海の中道

主催：マリンワールド海の中道

共催：日本セトロジー研究会

12:30 受付

13:00 開会のあいさつ

中村 雅之（日本セトロジー研究会第29回（福岡）大会会長  
マリンワールド海の中道 館長）

13:10 特別講演-01 マリンワールド海の中道のストランディング対応について  
中村 雅之（マリンワールド海の中道）

14:10 特別講演-02 長崎周辺海域のハクジラ類  
天野 雅男（長崎大学水産学部）

15:10 特別講演-03 クジラのフィールドワークとその分析から見えてくること  
小池 裕子（九州大学総合博物館）

16:00 閉会

16:30-17:30 日本セトロジー研究会総会（会員のみ）

18:00-20:00 懇親会（会場：レストランレイリー）

# 2018年6月17日(日) 研究会

会場 : マリンワールド海の中道マリンホール

主催 : 日本セトロロジー研究会

08:30 受付開始

## 口頭発表(第1部) 9:00 - 11:30

### O-01~02 座長 落合真理(愛媛大学)

9:00 O-01 日本周辺海域におけるカマイルカ *Lagenorhynchus obliquidens* の食性

○松田純佳(北海道大学), 田島木綿子, 山田格(国立科学博物館), 松石隆(北海道大学)

9:15 O-02 静岡県伊東市沖の定置網に入網し死亡したセミクジラ(予報)

○山田格, 松田純佳(北海道大学), 塩崎彬(長崎大学), 森健人(国立科学博物館), 栗原望(宇都宮大学), 西間庭恵子(長崎大学), 田島木綿子(国立科学博物館)

### O-03~05 座長 森恭一(帝京科学大学)

9:30 O-03 日本近海に棲息するスナメリにおいて *Anisakis sp.* の寄生があった一例

○近藤圭佑, 宮園哲至(マリンワールド海の中道), 塩崎彬(長崎大学), 會津光博(九州大学)

9:45 O-04 種子島に集団座礁したシワハイルカの遺伝的解析

○栗原大樹(宮崎大), 田島木綿子(国立科学博物館), 落合真理(愛媛大), 會津光博(九州大), 柏木伸幸(かごしま水族館), 山田格(国立科学博物館), 西田伸(宮崎大)

10:00 O-05 座礁したユメゴンドウの保護飼育について

○宮園哲至(マリンワールド海の中道)

O-06~08 座長 西田伸 (宮崎大学)

- 10:15 O-06 鯨類の脂皮に蓄積する有機ハロゲン化合物のプロファイル解析  
○須之内朋哉, 後藤哲智, 落合真理 (愛媛大学), 田島木綿子, 山田格 (国立科学博物館), 田辺信介, 国末達也 (愛媛大学)
- 10:30 O-07 オガワコマッコウ *Kogia sima* にみられた寄生吸虫類の報告  
○塩崎彬 (長崎大学), 中郡翔太郎 (帯広畜産大学), 近藤圭佑, 宮園哲至 (マリンワールド海の中道), 西間庭恵子, 武内一真, 天野雅男 (長崎大学)
- 10:45 O-08 漂着専門委員会報告 ; 日本沿岸のストランディングレコード 2017  
○石川創 (下関海洋科学アカデミー鯨類研究室), 田島木綿子, 石井雅之, 山田格 (国立科学博物館)

O-09~10 座長 石川創 (下関海洋科学アカデミー鯨類研究室)

- 11:00 O-09 瀬戸内海および大村湾のスナメリにおける有機ハロゲン化合物汚染と経年変化  
○川邊陸, 後藤哲智, 落合真理 (愛媛大学), 山田格, 田島木綿子 (国立科学博物館), 塩崎彬, 天野雅男 (長崎大学), 田辺信介, 国末達也 (愛媛大学)
- 11:15 O-10 座礁したオガワコマッコウ (*Kogia sima*) にみられた心筋変性の 2 症例  
○中郡翔太郎 (帯広畜産大学), 天野雅男 (長崎大学), 古林与志安 (帯広畜産大学)

昼食                    11:30-12:30

ポスター発表            12:30-13:30

- P-01 北海道沿岸における 2017 年のストランディングレコード  
○松田純佳, 黒田実加, 松井菜月, 前田彩貴 (北海道大学), 中郡翔太郎 (帯広畜産大学), 小林万里 (東京農業大学), 松石隆 (北海道大学)
- P-02 炭素 14 によるザトウクジラ *Megaptera novaeangliae* 及びミンククジラ *Balaenoptera acutorostrata* の回遊経路推定  
○松田純佳, 松石隆 (北海道大学), 永田俊, 宮入陽介, 横山祐典 (東京大学)

- P-03 種子島に集団座礁したシワハイルカの汚染物質濃度とリスク評価  
○落合真理 (愛媛大学), 西田伸 (宮崎大学), 田島木綿子, 山田格 (国立科学博物館), 柏木伸幸 (かごしま水族館), 国末達也, 岩田久人 (愛媛大学)
- P-04 マリンワールド海の中道がスナメリを題材に行った啓発活動  
○宮園哲至, 岩田知彦, 中村雅之 (海の中道海洋生態科学館)
- P-05 御蔵島に漂着したカズハゴンドウ頭骨標本  
○丸山啓志 (千葉県立中央博物館), 小木万布 (御蔵島観光協会)
- P-06 マッコウクジラ由来アンブレイン・オノセロイド生産菌の探索と利用  
○近岡花菜子 (新潟大学), 川邊舞 (新潟大学), 上田大次郎 (新潟大学), 山田格 (国立科学博物館), 田島木綿子 (国立科学博物館), 佐藤努 (新潟大学)
- P-07 スナメリの安定同位体比分析における死亡漂着個体標本の選別法  
○古山歩, 淀太我, 船坂徳子 (三重大学), 若林郁夫 (鳥羽水族館), 大池辰也 (南知多ビーチランド), 吉岡基 (三重大学)
- P-08 能登島に定住していたミナミハンドウイルカの富山湾への移動  
○森 恭一 (帝京科学大学), 近本杏里 (ドルフィンスマイル), 南部久男 (富山市科学博物館), 関 東雄 (富山県氷見市在住), 長越広憲, 雨宮優香 (帝京科学大学)
- P-09 スナメリ骨格標本の作製方法の検討  
○西間庭恵子, 川上萌, 畑瀬沙那, 天野雅男 (長崎大学)
- P-10 新潟県沿岸・沖合における海生哺乳類の漂着・混獲・目撃記録(2016年5月～2018年4月)  
○箕輪一博 (柏崎市立博物館), 岩尾一 (新潟市水族館), 櫻健太郎・田原浩之・大渕祐介 (上越市立水族博物館), 青柳彰・小田美郷 (寺泊水族博物館), 岩下雅彦 (佐渡汽船シップメンテナンス株式会社), 大原淳一 (新潟県野鳥愛護会), 今村美由紀 (上越環境科学センター), 関谷伸一 (新潟県立看護大学・国立科学博物館)
- P-11 大分沿岸域における鯨類目視調査  
○澤修作, 岩田秀一, 田中平 (大分マリーンパレス水族館)

## 口頭発表 (第2部) 13:30-15:30

O-11~13 座長 宇仁義和 (東京農業大学)

- 13:30 O-11 ドミニカ共和国サマナ湾におけるホエール・ウォッチング  
○浜口 尚 (園田学園女子大学短期大学部)

13:45 O-12 北海道周辺に生息するネズミイルカの性成熟と成長曲線  
○松井菜月（北海道大学）、佐々木基樹（帯広畜産大学）、小林万里（東京農業大学）、進藤順治（北里大学）、松石隆（北海道大学）

14:00 O-13 石川県門前黒島漂着のナガスクジラとナホトカ号重油流出事故  
—NPO 石川県自然史センター主催 第29回公開シンポジウムをふまえて—  
田崎和江（金沢大学）、嶋田敬介（石川県立自然史資料館）、桂嘉志彦（石川県立自然史資料館）、○平口哲夫（金沢医科大学）

O-14～16 座長 松石隆（北海道大学）

14:15 O-14 ユメゴンドウ *Feresa attenuata* の社会構造：集団座礁個体の遺伝的解析  
○宮下 裕一（宮崎大）、田島 木綿子（国立科学博物館）、栗田 壽男（宮崎くじら研）、立川 利幸（下関市立しものせき水族館）、會津 光博（九州大）、山田 格（国立科学博物館）、天野 雅男（長崎大）、西田 伸（宮崎大）

14:30 O-15 インドネシア、ラマレラの捕鯨記録(2017～18)と社会変化  
○江上幹幸（元沖縄国際大学）、小島曠太郎（文筆家）

14:45 O-16 磁気共鳴映像法(MRI)を用いたツチクジラ脳の状態と容積測定  
○パツケ ニーナ、フェルナンデス イサベル、葛西 仁太、タ キン キン、和多 和宏、松島 俊也（北海道大学）、小林 麻里（東京農業大学）、モタブルーノ（リオデジャネイロ連邦大学）

O-17～18 座長 大石雅之（岩手県立博物館）

15:00 O-17 ネズミイルカとカズハゴンドウの頭部における周波数応答の比較  
○黒田実加（北海道大学）、佐々木基樹（帯広畜産大学）、山田一孝（麻布大学）、三木信弘（公立はこだて未来大学）、松石隆（北海道大学）

15:15 O-18 フォトグラメトリーによる鯨類ストランディング個体の3Dモデル化とその有用性  
○森健人、山田格、田島木綿子（国立科学博物館）

最優秀発表授賞式・閉会式 15:30

山田 格（日本セトロロジー研究会代表・国立科学博物館）